

全国学校ギター合奏コンクール2024 審査講評

A-14番 団体名 淑徳巣鴨中学高等学校ギター部

課題曲 曲名: Division 9 for Guitar Orchestra / 猿谷紀郎 <指揮: 山岸晴太郎>

自由曲 曲名: 落夏流穂 / 柳川和樹 (國宗愛・小林徹編) <指揮: 内海七夏>

審査員名	課題曲	自由曲
新堀	マナー○アナリーゼ△技術○音色△指揮△ 導入余白無駄 Gr×6だが曲と位置が合わない ストーリーを考えよ 指揮台使用は相当意識して奏者へエネルギーが流れるように	マナー○アナリーゼ○技術○音色△指揮△ 指揮左が死んでいる 足揃えは次がフレッシュになるので○ ノック音、曲に合ったものを選んでください。 ギタオケと自分達にあった選曲を。たくさん名曲が存在します。
竹内	この曲は譜面は難しいが、ゆったりしたテンポの中でイメージに合った音色を作り出していた。 ハーモニクスをこれだけの人数でハモらせることがまず驚いた。	調や音色のセンスをよく捉えていたと思う。 アンサンブルとしても、相当に高度と思われるが、H~Iのリズム伴奏の効果も崩れなかったのが見事。
猿谷	nice tryです。 拍がずれてしまったのは残念でしたが、うまく雰囲気は表れていました。	人数の多いことが諸刃の剣にならないようにしましょう。
堀	すばらしいチャレンジにまず拍手を送りたい。 こういう曲は特に、譜面をしっかりと読み、きちんと表現することが肝要。撥弦アンサンブルは擦弦のそれに比べてタテ線がとってもシビア。そこをもっとクリアすると良さが倍増します。そして、もっとダイナミクスもつけたくなると思います。	正しい指揮法には形にも意味があります。オケ全体に正しい意味での「強拍」(≠強く弾く、大きく弾く)が生まれるといいと思います。 音色の使い分けをもっとするいいが、しっかり弾いてどの楽器もいるので立体感はある。 中間部は、もっとちゃんと弾けたら大味にならなかったのに、と少し残念。 疾走感。勢いあるところ以外がもっと説得力あるといいなと思いました。
柴田	よく暗譜で弾くなあ！	
中島	終わりのハーモニクスが美しい。 現代曲の新曲に取り組んだ姿勢が素晴らしい。 楽譜にあるf、mf、pなどの強弱記号を皆で分析して音量、音色を研究すると見えてくる世界があると思う。	指揮、両手が同じ動きなのが気になる。 パッションが一方だけなので、熱量は伝わるが変化に乏しい。 音色の変化など今後の課題にできる。

【お問い合わせ】

全国学校ギター合奏コンクール2024 開催事務局(現代ギター社内)

〒171-0044 東京都豊島区千早1-16-14

Tel.03-3530-5341